



梅内聚落だより



10

第 号
令和6年1月30日

聚落のホームページ
「梅内聚落」で検索しても見れます

個人の林の維持管理について

後継者がいない、自分の林がどこにあるのかわからない、ただ固定資産税を払っているだけではないのか。林はもういらぬ・・・、誰かに譲りたい・・・。そう思っている方もいるかもしれません。

でも、少し待ってください。
能代市が下記の「能代システム」で、個人の林の管理に支援をはじめています。
聚落も、皆さんの林について、何かお手伝いできることがないか検討しているところです。

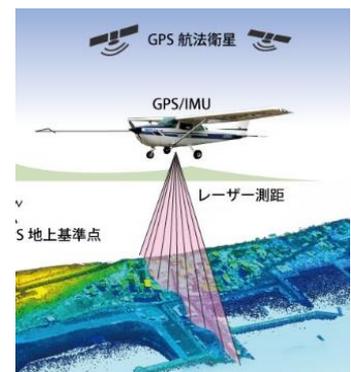


山の立木を売ることは問題ないのですが、土地を部外の第三者に売ることは注意をしていただきたいのです。売った土地が周りに迷惑をかけるような使われ方をされるのが心配されます。また、林道を作る場合などに協力を得られないということも考えられます。土地転売の業者に売るとは、特に危険があります。

下記の能代システムも参考にして、自分の林の今後についてゆっくり考えてみてください。
(山林の固定資産税は、平均1,000～2,000円/町歩、それほど大きな負担にはならないと思います)

能代システム/能代市が実施

まずはじめに、航空機で山林をレーザー測量します。
すでに能代市が令和3年に常盤地区を、令和5年には梅内の種梅川の西側を実施しています。
山林の詳細な地形、木の種類や本数、樹高、材積などまでわかるため、広大な範囲のデータを一気に取得できます。
今後は市内の山林を順次測量していきますが、種梅川東側の実施年度は今のところ未定です。



地番ごと、氏名入り、GPS座標付き

レーザー測量のあとに、境界推定図を作ります。
すでにある公図や林班図をもとにして、レーザー測量の結果を加え、現場の杭などの確認、現地に詳しい地元の人からの情報などを総合して、境界推定図を作ります。

これまでの林の図面といえば、公図と林班図しかないのですが、残念ながらどちらも実態とはだいぶ異なるケースが多く、信頼性に欠けるものでした。境界推定図は、これらにレーザー測量結果などを加えてより実態に近づけた図面と言えます。

これを見た常盤地区の住民からは、「これでいい、これを境界にしよう！」という声が多かったとのこと。

森林施業提案書

○所有者氏名 白神 ねぎのん

○森林所在 能代市向能代字トトメキ〇〇〇-△△△

○森林の現況

面積	樹種	立木本数	立木材積	平均直径	平均樹高
0.41ha	スギ	269本	376m ³	36cm	27m

○事業収益見込

内 訳		金 額	備 考
〔収入〕	国県補助金	258,500	森林環境保全整備事業費補助金
	市補助金	63,500	森林・林業活性化総合支援事業費補助金
	素材販売	567,050	80本 56m ³
	収入計	889,050	①
〔支出〕	事業費	651,000	間伐施業・森林作業道開設
	販売経費	41,400	販売手数料等
	運搬費	137,000	白神木材流通センター
	支出計	829,400	②
収 益	59,650	①-②	

その後、能代市は将来的に収益が見込まれる林と、そうでない林を区分けして、収益が見込まれる林については、個人あてに間伐などの施業提案書を提示します。

提案書には、林の地番、面積、立木本数、材積などが記載され、さらに間伐を行った場合の収入、経費、差し引きの収益までが示されます。周囲の林と同時に間伐すると、経費がさらに安くすむとのことです。

自分の林の所在場所や杉の木の詳しい情報が得られ、間伐による収入まで提案してもらえありがたい制度です。

※この能代システムについては、広報のしるや北羽新報でも紹介されています。

4月の総会では、スライドなどを使って、分かりやすく詳しく説明する予定です。

種梅川の堤防の応急復旧工事

堤防の復旧工事について、昨年12月に秋田県から説明がありました。

- ・堤防が崩れているところは春までにトンパックなどで応急の復旧工事を行うので、今年の田植えは通常通りに行ってください、とのことでした。(応急工事のため田んぼに重機が入るので、その田主の方々には1月21日に説明会を行いました)
- ・本格的な復旧工事は秋の稲刈り後に行うとのことです。
- ・田んぼにあがった石や土砂については、能代市が実施する農地災害復旧工事になるので、秋の堤防工事と同時か、その後になるもようです。



種梅小学校の解体について

昨年秋に能代市教育委員会から種梅小学校の体育館について相談があり、地元の了解が得られれば6年度に解体の設計をして、7年度には解体したいとのことでした。現在では体育館の利用もほとんどない状況であり、相談を受けた梅内聚落・種部落ともに解体はやむを得ないと思っているところです。この件についてご意見などがある方は、最寄りの協議員にご連絡ください。

梅内聚落コミュニティセンター(旧さんぼえむ)をご利用ください
今年度は聚落住民は使用料が無料、トイレは水洗、冷暖房完備、調理器具も充実。
グループの集まりなどに、どんどんご利用ください！

